



# ミンガラバー

こんにちは

NPO法人  
日本・ミャンマー  
医療人材育成支援協会  
〒700-0811 岡山県岡山市  
番町二丁目6番7号  
Tel 086-224-0102

## 心優しいミャンマーへの 医療リーダー育成支援



NPO法人 日本・ミャンマー医療人材育成支援協会  
副理事長 小出典男

### 印象は「心のふるさと」

世界の最貧国であり、心やさしい人達が住むミャンマー国を、医療面で少しでも援助してあげたいとの理事長・岡田茂の熱い思いに誘われて、初めてミャンマーを訪問したのが6年前のことでした。どんな国なのか全くイメージがわかず、単純に後進国、最貧国、戦時中にインパール作戦で多くの日本人が亡くなった国、マラリアにかかりそうぐらいの思いしかもつていきました。



私は肝臓病の専門医な

のですが、この国には肝炎が多いので少し調べてほしいとの専門家意識をくすぐる理事長の甘言と熱意にほだされての、初の訪問。最大の印象は、

現地の人達の屈託のない明るさ、まじめさ、ひどい環境での勉学の熱意など日本人が忘れかけているものに久しぶりに出会ったような気持ちになれたことでした。

貧しいながら、愛情にあふれた生活に近く、まさに「心のふるさと」に帰ったような感覚を覚えたことが私の直感的な印象でした。それからいつのまにか6年が経ち、す

で10回近い訪問や医療人留学生の受け入れを行ってきました。

### 輸血の安全性確保に 日本の経験活かす

最初に依頼されたミャンマーでの肝炎の問題は深刻でした。わが国の「黄色い血の恐怖」がこの国にまだ存在していたのです。

米国人宣教師の息子で16歳まで日本で育ち、アメリカ人の誰よりも日本に通じ、日本を愛し、日本人の女性を妻としたライシャワー氏は1961年ケネディ大統領の要請で駐日米国外大使として大歓迎のうちに着任しました。そして1964年、暴漢に襲われナイフで刺されたのです。ライシャワー氏は手術時の輸血が原因で、その後肝炎を発症し、ついには肝臓で亡くなりました。

優秀な技術力で新幹線を作り、卓越した組織力で東京オリンピックを成

功させたわが国が、世界から高い評価を受けた矢先の「ライシャワー事件」はわが国の血液制度の後進性を世界に露呈することとなったのです。

当時の輸血血液は汚染された売血に依存していたのです。これ以後、血液制度は献血制度に移行し、高い技術力を背景に今では世界で最も安全な血液が供給できる国になったのです。オリンピック開催や新幹線にも匹敵するわが国の誇るべき業績のひとつだと思えます。

私たちは、わが国の貴重な経験をミャンマーにも生かすことが医療者としての義務だと考えました。ミャンマー保健省の元で、肝炎ウイルスの検査を安価で実施できるように指導するとともに献血車も贈呈した結果、売血は中止され、すべての輸血用血液は安全性を確認できた献血に依存することになりました。

### 心の穢れ知らぬ人々の 住む国へ支援を

ここで再び、ミャンマーが「心のふるさと」と感じた最初の印象が、さらに確信へと変わる事態

に遭遇したのでした。わが国では献血キヤラバン隊が走り回り、メディアでの献血呼びかけが行われているにもかかわらず、常に献血血液の不足が問題として取り上げられています。ミャンマーでは献血車が村に到着すると、寺院が献血を呼びかけます。国民のほとんどが信心深い仏教徒であり、寺院への寄進が尊いとの教えが生きているこの国では、なんと村人がごっそり献血に集まるのです。理由は明確でした。金銭など物品に勝る寄進は自身の身を削る寄進だという教えが生きているのです。なんと素直な人達なのでしょいか。わが国の若者に見せてやりたい光景です。この国の人達に私たちができることを少しでもしてあげたいとの思いが益々強くなる出来事でした。

心の穢れを知らない人々が住むこの国で、将来ともに献血血液の不足が起らないことを念じつつ、また私たちのミャンマーでの医療リーダーを育てる活動への皆さまのご支援を祈りつつ雑文を閉じたいと思います。

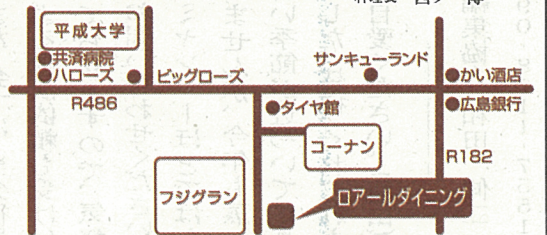
福山北部に南欧の風…。味を極め、居心地を極めた、上質のひとときをお楽しみ下さい。



料理長 西ノ博

## Loire Dining

ロアールダイニング  
福山市神辺町道上街区2-3(フジグラン神辺店前)  
TEL 084-963-1905  
●LUNCH 11:00~14:00  
●SWEETS&TEA 14:00~17:40  
●DINNER 17:00~22:00



日本・ミャンマー医療人育成支援協会メンバーと行く!!  
**神秘の国ミャンマー 8日間**  
 8月20日出発 旅行代金 **153,800円**



日付	都市	スケジュール
8/20(日)	関西空港 バンコク	関西空港より空路バンコク経由ヤンゴンへ到着後、専用車にてホテルへ
8/21(月)	バンコク ヤンゴン	終日ヤンゴン市内観光
8/22(火)	ヤンゴン	視察 ※時間があれば国立博物館・ヤンゴン港
8/23(水)	ヤンゴン パゴダ	パゴダ経由パゴダへ(約4時間半) チェイティヨーパゴダ見学
8/24(木)	ヤンゴン	ヤンゴンへ向かう途中、パゴダ終日観光 シエトパゴダ、ジュエタパゴダ、チャイパゴダ
8/25(金)	ヤンゴン	ミャンマーの田園風景を眺めながら シリムチャッタナ・水上寺院見学
8/26(土)	ヤンゴン バンコク	空路、バンコクへ 世界遺産アユタヤ観光
8/27(日)	バンコク 関西空港	空路、関西空港へ

利用航空会社：タイ航空  
 上記料金以外別途必要経費 合計28,150円  
 【関西空港空港税2,650円 ミャンマー空港税1,200円  
 燃油サーチャージ14,300円(往復) ミャンマー-VISA代10,000円  
 便利な送迎付きです。

私たちがサポートしていく、ミャンマーの現状を知るための研修ツアーの日程が決定しました。ツアーには岡田茂理事長をはじめ、岡大医学部の先生方、NPOの理事と会員が参加。現地の医療系大学や総合病院などを訪問し、医師や研究者らとの交流を行います。

もちろん、仏教国ミャンマーを象徴する「パゴダ」や水上寺院の見学など観光も充実、帰路にはタイが誇る世界遺産アユタヤも訪れます。ツアーは、私たちの現地視察に合わせて読売旅行が企画。「神秘の国 ミャンマー8日間」として広く一般の方々にも参加を呼びかけています。会員の皆様も、この機会にぜひ奮ってご参加ください。

▶申込み・問合せ  
 ☎090-8998-1508(西山)

ミャンマーは  
 どんな国?  
 こんな国! ②

ミャンマー(正式名称ミャンマー連邦=Union of Myanmar、旧国名ビルマ)のご紹介。第2回は日本との深い関わりです。



前回、ミャンマーは大変な親日国だと紹介しましたが、それを裏付けるかのように、日本語の習得熱は非常に高く、僧院の中に日本語教室があったり、ヤンゴン市内には無料教室があるなど、多くの人が日本に憧れながら懸命に学んでいます。日本との深い関わりは、鉄道にも現われています。昭和40年代からつい最近まで、日本の非電化路線で活躍していた「キハ58

型」というディーゼルカーがミャンマーで活躍の場を与えられ、「花形車両」として、ヤンゴンと新たに首都機能の移転が決まった内陸都市ビュンタザの間を誇らしげに疾走しています。

キハ58は急行用に製造され、スピードと馬力を兼ね備えた名機として知られ、中国地方ではJR津山線の「砂丘」や、三段式スイッチバックで有名な出雲坂根駅がある木次線経由の「ちどり」として、長く陰陽連絡線のスターの座を占めていました。

5、6年前に老朽化で引退した後、一部の仲間がはるばる東シナ海を渡って活動の場を得たことは、まさに「友好利用」と言えるでしょう。

ただ、残念なことに、同国の鉄道は定時運行には属病院でNPO法人日本・ミャンマー医療人育成支援協会の発足後初の活動方針決まる

医師3人受け入れへ  
 第1回総会で  
 活動方針決まる

かなり寛容で、一時間や二時間の遅れでイライラしてはいけないようです。今回は、筆者の興味全開で、思わず鉄道の方へと話題が脱線してしまいました。次回はミャンマーの人々の生活に触れてみたいと思います。

総会総会が開かれ、60人が出席。早ければ8月中旬にもミャンマーから医師ら3人を受け入れることなど、今年度の活動方針を承認しました。

本物とは  
 身体のためによいものです。  
 基本は医食同源。

ひゃくとうめん  
 ひゃくとうめん  
 ひゃくとうめん

ギフト用あります。

ご注文・お問い合わせは  
 ☎084-955-0505  
<http://www.sky-net.or.jp/akane/>  
 akane1@muse.ocn.ne.jp

- よもぎ麺
- 黒豆麺
- あずき麺
- 青きな粉麺

4種入パック 1,500円  
 2種入ケース 800円

た報室から

日増しに暑さが募ってきていますが、皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。暑い夏を快適に乗り切るには、まず健康であることが第一条件ですね。そこで今回は、極真会館岡山西支部の田中康弘さんに教わった、誰でもできる簡単体操をご紹介します。

いかに簡単かということ、なんと、両足を肩幅に開き、両手を前後に振るだけ。これは今から1400年前に、中国の達磨大師が著した「達磨易筋経」に書かれている、誰でもできて、お金も一切かからず、しかも効果抜群の健康法です。いつでも、どこでもできるのですが、早朝、東を向いてするのが一番効果があるとか。時間の目安は5分から30分ですが、短くても毎日続けることが大切です。田中さんはこの健康法を半年続けてみて、「皆さんにご紹介するに値する」と自信たっぷりです。早速実行したいですね。

最後に、一人でも多くの方に会員になって頂けるよう、皆さまひとり一人が友人や知人に声をかけてくださるよう、改めてお願い致します。

また、会では、当会役員による講演依頼も受け付けておりますので、気軽にお問い合わせください。

ミャンマーほどではありませんが、今年も蒸し暑い季節が近づいて参りました。皆様、くれぐれもご自愛ください。(西山)

編集協力 和田 伸二  
 090-8711-7551